


被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	01-21
原子炉建屋内	RB	Z	7		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、自動化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他
内 容		リモートモニタリングシステム (RMS) の活用 (その1)			
作業部位		主プロセス建屋他			
概 略		RMSは、監理員等の被ばく低減に有効であるが、従来のRMSは大型・重量物で設置場所の制限等があったが、小型・軽量のRMSを開発し、併せて使い勝手を向上させた。			
評 価 ○定性・定量	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	--	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細		<p>対策前 被ばく低減のためにRMSを使用していたが、装置が大型・重量物等簡単に設置ができなかった。</p> <p>対策内容 小型・軽量のRMSを開発し、従来のRMSに代わって使用した結果、設置撤去が容易で被ばく低減に有効であることが確認された。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設置スペース、重量があり、簡単に設置できない ➤ 無線式APDの電池の消耗、自身での線量確認機能 ➤ 通話装置本体の大きさ ➤ APDと通話装置、個別にネットワーク構築が必要 ➤ 英語によるソフトウェア・機器の表示 					
<p>監視用PC1台と 情報端末、線量計各10台を1セット</p> <p>線量計は乾電池1本で約4ヶ月稼働、情報端末は専用スタンドで充電</p> <p>現場で、情報端末により自身の線量確認が可能</p> <p>各種機器の無線通信はWi-Fiで統一</p> <p>現場設置機器 (カメラ・中継器) に防塵・防水機能</p> <p>日本語によるサポート体制</p>		